

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

令和8年6月招集

我孫子市議会定例会会議録（第5号）

令和8年6月25日（水）

議 事 日 程

議事日程（第5号）

令和8年6月25日（水）午後2時開議

日程第1．議案第1号から議案第9号及び陳情総括審議

午後2時00分開議

○議長（日暮俊一君） これより本日の会議を開きます。

議 長 の 報 告

○議長（日暮俊一君） 日程に先立ち、岩井康議員から本日の会議を欠席する旨の届出がありましたので、御報告いたします。

議案第1号から議案第9号及び陳情総括審議

○議長（日暮俊一君） 日程第1、議案第1号から議案第9号及び陳情の件を一括議題とし、総括審議を行います。

各委員会の審査結果について委員長の報告を求めます。

江川克哉総務企画常任委員長。

〔総務企画常任委員長江川克哉君登壇〕

○総務企画常任委員長（江川克哉君） 総務企画常任委員会に付託されました議案の審査結果について御報告いたします。

議案第1号、我孫子市税条例の一部を改正する条例の制定について、

議案第2号、財産の取得（湖北消防署庁舎付属備品一式）について、

議案第3号、財産の取得（高規格救急自動車）について、

議案第4号、財産の取得（水槽付き消防ポンプ自動車）について、

以上議案4件について慎重に審査いたしました結果、いずれの議案も全員異議なく原案どおり可

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

決すべきものと決定いたしました。

以上をもちまして総務企画常任委員会の報告を終わります。

○議長（日暮俊一君） 澤田敦士教育福祉常任委員長及び予算審査特別委員長。

〔教育福祉常任委員長・予算審査特別委員長澤田敦士君登壇〕

○教育福祉常任委員長・予算審査特別委員長（澤田敦士君） 教育福祉常任委員会に付託されました議案の審査結果について御報告いたします。

議案第7号、令和8年度我孫子市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について、

議案第8号、令和8年度我孫子市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について、

以上議案2件について慎重に審査いたしました結果、いずれの議案も全員異議なく原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

以上をもちまして教育福祉常任委員会の報告を終わります。

続きまして、予算審査特別委員会に付託されました議案の審査結果について御報告いたします。

議案第6号、令和8年度我孫子市一般会計補正予算（第1号）は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億9,400万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ515億2,400万円とするものです。

歳出の主な事業は、介護未経験者から介護の担い手となるまでの一体的支援事業、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者補助事業のうち、給食費補助事業分、生活保護費追加給付事業、中小企業の支援事業、負担金補助金のうち、公共交通事業者と燃料価格高騰対策支援金分、湖北小学校屋内運動場再建事業などです。

また、債務負担行為の補正は、リサイクルセンター設計・建設工事の追加、リサイクルセンター運営・維持管理業務委託の追加、五本松運動広場等指定管理委託の追加、庁内インフラ・セキュリティ業務委託の変更などです。

委員からは、特にリサイクルセンターの整備・運営や庁内インフラ・セキュリティ業務委託にかかわる債務負担行為、湖北小学校屋内運動場再建事業、介護未経験者から介護の担い手となるまでの一体的支援事業などについて、さまざまな角度から質疑が行われ議論が重ねられました。特にリサイクルセンターの整備・運営については、今後の長期にわたる財政的負担への懸念と対応策、庁内インフラ・セキュリティ業務委託については、余りにも急激な費用の増額におけるリスク分担に関する意見が出されました。

慎重に審査いたしました結果、多数をもって原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

以上をもちまして予算審査特別委員会の報告を終わります。

○議長（日暮俊一君） 椎名幸雄環境都市常任委員長。

〔環境都市常任委員長椎名幸雄君登壇〕

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

○環境都市常任委員長（椎名幸雄君） 環境都市常任委員会に付託されました案件の審査結果について御報告いたします。

初めに、議案の審査結果について御報告いたします。

議案第5号、市道路線の認定について、

議案第9号、令和8年度我孫子市水道事業会計補正予算（第1号）について、

以上議案2件について慎重に審査いたしました結果、いずれの議案も全員異議なく原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、陳情の審査結果について御報告いたします。

陳情第10号、我孫子市内へのスケートボード場の設置を求める陳情書について、慎重に審査いたしました結果、賛成多数により採択すべきものと決定いたしました。

以上をもちまして環境都市常任委員会の報告を終わります。

○議長（日暮俊一君） 以上をもちまして委員長の報告は終わりました。

委員長報告に対する質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（日暮俊一君） ないものと認めます。

○議長（日暮俊一君） これより討論を許します。

議案第6号に対する反対討論、芝田真代議員。

〔芝田真代君登壇〕

○芝田真代君 私は、議案第6号、令和8年度我孫子市一般会計補正予算（第1号）について、反対の立場から討論いたします。

本補正予算は、今後の本市の財政に多大な影響を及ぼす重要事業が含まれています。しかし、その内容及び提出のプロセスにおいて到底看過できない疑念があるため、反対を表明せざるを得ません。最大の理由は、本補正予算の根拠となる各事業が市民の合意形成を置き去りにしたまま拙速に強行されている点です。

先般、示されたリサイクルセンターの整備運営事業は、200億円を超える巨額事業へと膨れ上がっており、市民の生活環境への不安や、より経済的な代替案を求める声が上がっています。また、市内ICTインフラ更新事業に関しても、来年まで時間があるにもかかわらず、発注遅れという危機感を高めるような説明で、十分な審議の時間を奪うかのように今議会に組み込みがなされました。

我々議会に求められているのは、補正予算という手段を用いてこうした拙速な決定を追認することではありません。市民の税金が本当に必要かつ最小限のコストで使われているのか、厳しいチェックを行うことです。

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

今回、補正予算として一括して審議に迫る手法は、それぞれの事業が抱える問題の本質を覆い隠し、議会による適正な監視機能が無効化させるものと言わざるを得ません。変化を恐れ、立ち止まることを拒み、強硬に結論を急ぐ市政運営は、将来にわたって本市が財政を硬直化させ、市民サービスを切り捨てる引き金になりかねません。

以上のことから、本補正予算をこのまま認めることはできません。当局においては一度立ち止まり、市民の声に耳を傾け、改めて事業適正化を図るように強く求め、私の反対討論を終わります。

○議長（日暮俊一君） 議案第6号に対する反対討論、内田美恵子議員。

〔内田美恵子君登壇〕

○内田美恵子君 市民フォーラムの内田美恵子でございます。

議案第6号、令和8年度我孫子市一般会計補正予算（第1号）について、反対の立場で討論いたします。

この議案に反対する理由は、リサイクルセンター設計・建設工事費11億7,361万円とリサイクルセンター運営・維持管理業務委託料9億800万円の債務負担行為の設定を認めることはできないからであります。この債務負担行為の設定に反対する最大の理由は、この事業を実施することにより長期的かつ確実に我孫子市の財政を圧迫するからであります。私はリサイクルセンターの機能は、市民生活にとっても、また、3Rを推進し循環型社会を推進していくためにも必要だと考えています。

しかし、今回、提案されている整備事業は、事業費が計画策定時の約56億円から約118億円と2.4倍に、運営費は20年間で約50億円から91億円と2.3倍に、そして、合計額は約106億円から約209億円と約2倍になりました。その結果、今回の計画のままで事業を実施すれば、年間の実質一般財源負担額は約5億5,000万円となり、これまでより年間約3億2,000万円増加することになります。現状では、この増加分約3億2,000万円の財源のめどはついておらず、財源のめどもないまま事業を実施することは、責任ある行政運営とは言えません。

また、経常的経費さえ令和7年度約9億円、令和8年度約7億円の財源不足が続く厳しい財政状況の中で事業を実施すれば、今後、25年間の長きにわたり毎年リサイクルセンター事業だけで一般財源の負担が約3億2,000万円増加し、より一層厳しい財政状況になります。その結果、ほかの事業への影響や行政サービスの低下につながるようになります。

反対する第2の理由は、事業費の増大に伴う柔軟な事業の見直しができていないことです。一般的に考えれば、厳しい財政状況の中で事業費が倍増すれば、事業を断念するか、あるいは先送りするか、また、必要不可欠な事業であれば計画を抜本的に見直し、財政負担を軽減した上で事業を実施します。

しかし、これまでの進め方を見ると、事業費が増大しても、また、社会情勢や市の財政状況が変

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

化しても、事業を抜本的に見直すことをせず、10年前の計画に基づいて事業を実施することを最優先にしています。当初の計画に固執することなく、計画を柔軟に見直し、財政負担を軽減しながらリサイクルセンターの機能を維持することに力を入れるべきです。硬直化した事業の進め方から脱して変化に柔軟に対応した事業の推進体制を庁内で考えていただきたいと思います。

反対する第3の理由は、市民への十分な説明責任と市民の意見を真摯に聞こうとする姿勢が欠けていることです。最大規模の事業の実施に際し、市民への説明責任は十分果たしたと言えるのでしょうか。さきのふれあい懇談会でも、参加者からなぜ説明がないのかと問われ、予算が決まったら説明すると答えてひんしゅくを買いました。

決まってからでは市民の意見を反映することはできません。言うまでもなく、市の事業は市民の税金で行うものであり、事業実施に際し、納税者であり、主権者である市民に対し十分な説明を行い、しっかりと意見を聞くことは当たり前のことです。市民への説明責任や意見聴取の姿勢が欠如していることは大変大きな問題であります。

以上がリサイクルセンターの債務負担行為の設定に反対する主な理由であります。

議員の皆様、今後の市の財政を長期的かつ確実に圧迫するこの債務負担行為の設定について、責任ある慎重な対応をお願いいたしまして、私の反対討論といたします。

○議長（日暮俊一君） 議案第6号に対する反対討論、海津にいな議員。

〔海津にいな君登壇〕

○海津にいな君 議案第6号につきまして、リサイクルセンター整備・運営事業、これに対しまして反対討論をいたします。海津にいなです。

まず、この議案の提出過程には、クリーンセンター整備に係る前段がございます。執行部が示すように、清掃行政に関わる敷地での可燃ごみ整備の第1期工事、それに続く工事ということであります。その時点でつくられた計画であるということをしっかりと見直す時期にも入っております。その点で3つの反対理由を申し上げます。

担当課では、特に自区内処理の前提があるということで論を進めております。首都圏郊外の最終処分場が望めない我が市のような事情では、こうした状況を鑑みて、現在、国・県では広域化の推進を掲げております。こうした時期に財政の無駄も省くということで、国・県は広域化の推進も掲げるところでございます。

出生率の低下、扶助費の増大、財政基調の変化がこのところ大きいものです。また、それに伴いまして、ごみ量の減少がはっきりしております。近隣市においては、既に広域化、民間におけるリサイクル事業へとかじを切っているところが見られます。

柏市でも最終処分場は確保しておりますが、民間清掃事業組合が柏プラネットを立ち上げ、そして民間リサイクル関連を主導しております。人口が激増する流山市は、自前の清掃施設、それを持

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

ちながら民間に委託するシフトも考えてハイブリッド対応でございます。また、野田市は平成25年にリサイクルセンターを開設しておりました。隣の龍ケ崎市は、最終処分場を確保し、広域化を進めております。我孫子市と同時期に町政から市政へと転換した取手市は、駅前に187億円を予定して地元の組合を誘発して原資を出してもらいながら、市の発展を考えております。

我孫子市の場合は、ほぼそれを上回るような200億円に至る金額を清掃事業のため、リサイクルのために捻出しなければならない本予算でございます。今、国から3割の補助金を当てにしながら工事着工を予定しておりますが、しっかりと我孫子市の未来を考えて、我孫子市の総力を挙げて、我孫子市の発展のために予算を使うべきではないでしょうか。ごみ行政だけに力を入れるようなことがあってはなりません。我孫子市がリサイクル施設の建設に市民の理解を得られるような段階があったかどうか、振り返って考えなければなりません。

3点目としましては、このごみ行政に関して新しい法律が2024年にできております。プラ新法と言われるものでございますが、この勘案を十分にしたのかどうか、本予算が出される中において、しっかりと担当課がお答えをする場面がございました。こうした審議を市民にも理解していただく、そして、我孫子の将来に向けてごみ処理をどのような方向性を持ってやっていくかということの説明が欠けていたように思います。

これら3点を理由に、私は反対の討論をいたしました。議員の皆様におかれましては、現状の我孫子市の財政状況をしっかりとお考えいただきまして、正しい判断をしていただくようお願いをするところでございます。

以上をもちまして、私の反対討論を終わりといたします。どうぞよろしくお願いをいたします。

○議長（日暮俊一君） 以上で討論は終わりました。

○議長（日暮俊一君） これより順次採決いたします。

採決は採決表示システムにより行います。各議席の出席ボタンを確認してください。

議案第6号、令和8年度我孫子市一般会計補正予算（第1号）について、委員長報告のとおり原案に賛成の議員は賛成ボタンを押してください。

ボタンの押し忘れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（日暮俊一君） ないものと認めます。

確定いたします。

賛成多数と認めます。よって、議案第6号は可決されました。

○議長（日暮俊一君） ただいま議決いたしました議案を除く各議案について一括採決いたします。

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

議案第1号、議案第2号、議案第3号、議案第4号、議案第5号、議案第7号、議案第8号及び議案第9号について、委員長報告のとおり、各原案に賛成の議員は賛成ボタンを押してください。

ボタンの押し忘れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（日暮俊一君） ないものと認めます。

確定いたします。

賛成全員と認めます。よって、各議案は可決されました。

○議長（日暮俊一君） これより陳情について採決いたします。

陳情第10号、我孫子市内へのスケートボード場の設置を求める陳情書について、委員長報告のとおり願意妥当と認め、採択するに賛成の議員は賛成ボタンを押してください。

ボタンの押し忘れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（日暮俊一君） ないものと認めます。

確定いたします。

賛成多数と認めます。よって、陳情第10号は、採択と決定いたしました。

（「議長すみません。採決ボタンを押して間違えをしてしまいました」と呼ぶ者あり）

○議長（日暮俊一君） もう済んじゃっていますので。

○議長（日暮俊一君） 以上で今期定例会に付議されました案件の審議は全て終了いたしました。

これをもちまして、令和8年第2回我孫子市議会定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後2時25分閉会

本日の会議に付した事件

1. 議案第1号から議案第9号及び陳情総括審議

出席議員

議 長	日	暮	俊	一	君				
副議長	飯	塚		誠	君				
議 員	深	井	優	也	君	芝	田	真	代 君
	船	橋		優	君	島	田	安	子 君
	山	下	佳	代	君	西	川	佳	克 君

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

海 津	に い な	君	澤 田	敦 士	君
江 川	克 哉	君	芹 澤	正 子	君
高 木	宏 樹	君	西 垣	一 郎	君
甲 斐	俊 光	君	内 田	美 恵 子	君
豊 島	庸 市	君	坂 卷	宗 男	君
早 川		真 君	椎 名	幸 雄	君
茅 野		理 君	木 村	得 道	君
佐々木	豊 治	君			

欠席議員

岩 井 康 君

出席事務局職員

事 務 局 長	佐 野 哲 也
次 長	工 藤 文

出席説明員

市 長	星 野 順 一 郎 君
副 市 長	渡 辺 健 成 君
教 育 長	丸 智 彦 君
水 道 局 長	古 谷 靖 君
企 画 総 務 部 長	高 見 澤 隆 君
(併) 選挙管理委員会事務局長	
財 政 部 長	中 光 啓 子 君
市 民 生 活 部 長	海 老 原 郁 夫 君
健 康 福 祉 部 長	根 本 久 美 子 君
子 ど も 部 長	山 崎 美 弥 子 君
環 境 経 済 部 長	大 井 一 郎 君
建 設 部 長	海 老 原 正 君
都 市 部 長	林 宏 規 君
消 防 長	国 本 浩 二 君
教 育 総 務 部 長	佐 藤 和 文 君

【会議録（暫定版）】校正中の原稿のため、正式な会議録ではありません。

生涯学習部長

辻

史郎君